

## 調査審議に当たってのポイント及び基準案（骨子）について

## (1) 規制対象物質（案）

規制対象物質は下記の特定芳香族アミン 24 物質を生ずるおそれのあるアゾ染料とする。

No.	物質名	CAS 番号	IARC 分類※
1	4-アミノビフェニル	92-67-1	1
2	ベンジジン	92-87-5	1
3	4-クロロ-o-トルイジン	95-69-2	2A
4	2-ナフチルアミン	91-59-8	1
5	o-アミノアゾトルエン	97-56-3	2B
6	2-アミノ-4-ニトロトルエン	99-55-8	3
7	p-クロロアニリン	106-47-8	2B
8	2,4-ジアミノアニソール	615-05-4	2B
9	4,4'-ジアミノビフェニルメタン	101-77-9	2B
10	3,3'-ジクロロベンジジン	91-94-1	2B
11	3,3'-ジメトキシベンジジン	119-90-4	2B
12	3,3'-ジメチルベンジジン	119-93-7	2B
13	3,3'-ジメチル-4,4'-ジアミノビフェニルメタン	838-88-0	2B
14	p-クレシジン	120-71-8	2B
15	4,4'-メチレン-ビス-(2-クロロアニリン)	101-14-4	1
16	4,4'-オキシジアニリン	101-80-4	2B
17	4,4'-チオジアニリン	139-65-1	2B
18	o-トルイジン	95-53-4	1
19	2,4-トルイレンジアミン	95-80-7	2B
20	2,4,5-トリメチルアニリン	137-17-7	3
21	o-アニシジン	90-04-0	2B
22	4-アミノアゾベンゼン	60-09-3	2B
23	2,4-キシリジン	95-68-1	3
24	2,6-キシリジン	87-62-7	2B

※国際がん研究機関（IARC）による発がんリスク分類。

- EUでの規制対象の22物質に2,4-キシリジン及び2,6-キシリジンを追加した。
- 中国の基準、日本のエコマークの自主基準及びOeko-Tex Standard（EUを中心とした自主基準）の対象物質と同一である。
- o-アミノアゾトルエン及び2-アミノ-4-ニトロトルエンについては、還元処理で分解し適切な分析法が確立されていない。

## (2) 基準値 (案)

基準値は 30  $\mu\text{g/g}$  以下とする。

- ・ EU 及び韓国の基準値は 30  $\mu\text{g/g}$  以下、中国の基準値は 20  $\mu\text{g/g}$  以下である。
- ・ 日本での暴露実態を踏まえ、大気環境基準を参考として実施したリスク評価結果に基づく (参考資料 2 参照)。
- ・ 総量ではなく、各特定芳香族アミンの含有量として定める。

## (3) 規制対象製品選定の考え方 (案)

以下の考え方により、規制対象製品を選定する。

### ○規制対象製品の選定の考え方 (案)

- ・ EU で規制対象となっている製品 (別紙) のうち、特に長期間皮膚に接触すると考えられる製品 (繊維製品及び革製品): おしめ、おしめカバー、下着、寝衣、手袋、くつした、中衣、外衣、帽子、寝具
- ・ 実態調査で 30  $\mu\text{g/g}$  以上検出された製品: テーブル掛け、えり飾り
- ・ 子どもが口に含む等の可能性の高い製品: タオル、バスマット及び関連製品、床敷物

上記考え方に従い規制対象製品を選定すると、以下の製品分類が考えられる。なお、製品分類については、過去に家庭用品規制法で定めた製品分類を参考にした。

### ○規制対象製品 (案)

- ・ 繊維製品: おしめ、おしめカバー、下着、寝衣、手袋、くつした、中衣、外衣、帽子、寝具、床敷物、テーブル掛け、えり飾り並びにタオル、バスマット及び関連製品
- ・ 革製品 (毛皮製品を含む。): 下着、手袋、中衣、外衣、帽子及び床敷物

### <参考> 前回の調査会で示した規制対象製品 (案)

- ・ 繊維製品: おしめカバー、下着、寝衣、手袋、くつした、中衣、外衣、帽子、寝具、床敷物、テーブル掛け、えり飾り並びにタオル、バスマット及び関連製品
- ・ 革製品: 下着、手袋、中衣、外衣、帽子、時計バンド及び床敷物

## (4) 試験法 (案)

資料 2 の通りとする。

- ・ EU の試験法をベースとしている。

Designation of the substance, of the groups of substances or of the preparation	Conditions of restriction
43. Azocolourants	<p>1. Azodyes which, by reductive cleavage of one or more azo groups, may release one or more of the aromatic amines listed in Appendix 8, in detectable concentrations, i. e. above 30 ppm in the finished articles or in the dyed parts thereof, according to the testing methods listed in Appendix 10; shall not be used in textile and leather articles which may come into direct and prolonged contact with the human skin or oral cavity, such as:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— clothing, bedding, towels, hairpieces, wigs, hats, nappies and other sanitary items, sleeping bags,</li> <li>— footwear, gloves, wristwatch straps, handbags, purses/wallets, briefcases, chair covers, purses worn round the neck,</li> <li>— textile or leather toys and toys which include textile or leather garments,</li> <li>— yarn and fabrics intended for use by the final consumer.</li> </ul> <p>2. Furthermore, the textile and leather articles referred to in paragraph 1 above shall not be placed on the market unless they conform to the requirements set out in that paragraph.</p> <p>3. Azodyes, which are contained in Appendix 9, 'List of azodyes', shall not be placed on the market or used for colouring textile and leather articles as a substance or constituent of preparations in concentrations higher than 0,1 % by mass.</p> <p>4. The Commission shall, in the light of new scientific knowledge, review the provisions on azocolourants.</p>

